

発言通告表（一般質問）

令和5年6月定例会

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
1	遠藤 盛正（22）	<p>1. 富士市の高齢者就労支援の施策について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の収束が見えてきましたが、生活面では40年ぶりの物価高の影響が現在、生活を年金に頼っている高齢者世帯の家計に重くのしかかり、将来の不安が強まっています。最近、ある高齢者から「電気代など光熱費の支払いにも苦慮している、節約にも限界があるので何とかしてほしい」、「物価が上がっても年金は上がり、老後の資金が足りるのか心配だ」、またその方は、「体は動くので、週二、三日でも働きたい」と言っていました。人によって状況は様々ですが、物価が上がって今の蓄えで老後を乗り切れるのかと不安を感じるシニア層が増えているのが実態です。そこで、富士市として、まだまだ頑張りたいという高齢者の就労をバックアップするため、どのように取り組んでいるのかお伺いします。</p> <p>(1) 高齢者の就労相談は、どこが窓口になっているのか。また、相談件数及び相談内容はどのように把握しているのか。</p> <p>(2) シルバー人材センター以外での高齢者の就労状況を把握しているのか。ユニバーサル就労支援で農福連携以外に高齢者の就労支援への協力企業はあるのか。また、今後、幅広く高齢者の就労支援事業を進めていく予定はあるのか。</p> <p>(3) 高齢者介護施設での職員不足については、若い介護職員が今後も不足すると考えられています。また、50代、60代のシニア層に、忙しい時間帯にピンポイントで介護のお手伝いをしていただきたいと考えている施設は多くあります。そこで、以前、高齢者の就労支援として、費用と時間のかかる正規の初任者研修とまではいかないまでも、準介護職員として最低限の介護研修を受けられる体制を行政が整備してほしいとお伺いしましたが、その後、進捗はあったのでしょうか。</p> <p>2. サンプル21懇話会と富士市の関わりについて</p> <p>本年2月24日に富士市で行われたサンプル21懇話会富士山地区分科会では、「スポーツを通じた地域づくり」というテーマで著名人を招き、基調講演とパネルディスカッションが行われました。そこでパネラーとして小長井市長も登壇されました。小長井市長からは、生涯スポーツの推進やスポーツ環境の充実など、まちづくりの方向性が説明されました。また、経済効果も踏まえた競技振興の在り方についても、交流の視点を取り入れた施策を進めて行くと述べられていました。小長井市長は従前よりサイクルスポーツについて熱く語られていますが、それ以外のスポーツについてはどのように生かし、地域づくり、経済効果につなげていくのか、当日の小長井市長のお話も含め、改めてお考えを伺います。</p>	市長 及び 担当部長